

年報

令和5年度

徳島県立図書館

まえがき

私たちに長く行動制限を強いてきた新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日から感染症法上の位置付けが5類へと移行しました。人々が気軽に図書館を訪れ、知識や情報に自由に触れることのできる文化的日常がようやく取り戻されつつあります。

こうした中、徳島県立図書館では、「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」、「デジタル技術を活用した知的探求を応援する図書館」、「市町村立・学校図書館をサポートする図書館」を目指し、人口当たりの蔵書冊数・個人貸出冊数では、ともに全国トップクラスの水準を維持しながら、県民の皆様の多様な「知りたい・調べたい・学びたい」に応えることができる「知の拠点」としての機能強化に取り組んでいるところです。

令和4年度においては、

- ・ 赤ちゃんと楽しむおはなし会の関連企画「助産師さんとはなそう」の開催回数の増加や徳島県国際交流員を演者に迎えた「英語のおはなし会」の開催
- ・ 当館近隣の保育所・幼稚園・認定こども園、小・中・高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、図書館カレンダーと電子書籍活用のチラシを配付
- ・ 県立学校電子図書館事業との連携をはじめ、利用者のライフステージに応じた「電子書籍閲覧サービス」の利活用促進
- ・ 「とくしまネットワーク図書館システム」を新システムに更改し、スマートフォンを貸出カードの代わりに利用できる仕組みを導入

など、「こどもまんなか社会」を体現する企画の充実やポストコロナを見据えた非接触型サービスの拡大に取り組むとともに、フレイル予防や自殺対策、労働相談など、徳島県が推進する様々な施策と連携したパネル展・関連書籍のミニ展示を行うなど、当館利用者の裾野をさらに広げる取組も推進してまいりました。

令和5年度においても、引き続き、幅広い県民の皆様に気軽に足を運んでいただけるよう取り組むとともに、子育て支援や健康寿命の延伸、セカンドライフの充実など、県民の皆様の生涯を通じた課題解決を応援してまいりたいと考えております。

県民の皆様のニーズや社会的課題がますます多様化する中で、県立図書館の役割を果たしていくため、これからも、本県における図書館ネットワークの中核として、幅広い分野、様々な形態の資料を収集しながら、県全体としての図書館サービス向上に努めてまいりますので、この年報をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

徳島県立図書館長 露口 悦之

目 次

I	運営の基本方針 -----	1
	令和5年度重点事業 -----	1
II	令和5年度事業計画 -----	2
	令和5年度図書館予算（当初）の状況 -----	7
	徳島県立図書館資料収集方針 -----	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準 -----	10
III	令和4年度事業報告 -----	14
	1 企画振興担当関係 -----	14
	2 調査・郷土担当関係 -----	15
	3 資料・児童担当関係 -----	17
	4 図書館システム関係業務 -----	19
	5 他機関との連携事業ほか -----	20
	6 諸統計 -----	26
IV	管理 -----	28
	1 組織 -----	28
	2 施設・設備 -----	29
	3 沿革 -----	30
	4 歴代館長 -----	31
V	令和4年度行事記録 -----	32
VI	中国・四国地区図書館地区別研修 -----	39
	データで見る徳島県立図書館の現状 -----	40
	徳島県内市町村立図書館一覧 -----	41
	徳島県立図書館案内図 -----	42
	開館時間・休館日 -----	42
	徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）～新たな環境下の県立図書館サービス～ -----	43

I 運営の基本方針

- 1 図書館法と「ユネスコ公共図書館宣言」の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- 2 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- 3 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- 4 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- 5 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- 6 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

令和 5 年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に生涯を通じて応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、新たな環境下における非来館型サービスを含む、一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を引き続き推進する。

- 1 図書館「知の拠点」事業の実施
「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」「デジタル技術を活用した知的探究を応援する図書館」「市町村立図書館・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」「専門性を有する図書館の強化」を目指す。
- 2 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備・提供
 - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
 - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の「資料センター的機能」の充実
 - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実
 - ・地域資料のデジタル化の推進、「デジタルアーカイブ閲覧システム」の拡張と地域資料提供の利便性向上
 - ・バーチャル図書館の構築による非来館サービスの充実
 - ・電子書籍閲覧サービスの充実
- 3 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
 - ・読書バリアフリーの環境づくりに必要な資料や機器、サービスの整備
 - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 令和5年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
企 画 振 興 担 当	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年1回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 (書面表決) 研修会 年3回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。 職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	年 間	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う。	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学術調査及び研究を行い、文化の推進及び地域貢献に寄与する。	佐那河内村	年 間	12学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調査・郷土担当（調査）	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用に努める。	一 般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実を図る。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらい、最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書の収集、整備に努め、利用に供する。	一 般 図 書 館	年 間	新刊情報誌等により、選書、収集する。
	電子書籍閲覧サービス	課題解決に役立つ電子書籍を提供する。	一 般 図 書 館	年 間	館内端末とインターネットで個人に提供する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	オンラインデータベースを活用し、高度な調査研究に応える。	一 般	年 間	契約データベースの閲覧専用端末を設置。可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
	レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(調 査)	検索コーナーの管理・運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・デジタル画像閲覧端末を設置し、各種コンテンツを提供する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調 査 ・ 郷 土 担 当 (郷 土)	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	文化の森デジタルアーカイブシステムによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報、貴重資料をマイクロフィルム化・デジタル化して整理保存、利用者に提供する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法（内 容）
資料 ・ 児童 当 （ 資 料 ）	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集 ・整理を行う。	一 般	年 間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ・貸し出 しを行う。
	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の速やかな出納 を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫 の資料を適正に配列する。
	予約（リク エスト）制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネ ットで予約を受け処理す る。
	視聴覚資料 の収集と整 理	C Dの収集・整理を行う。	一 般	年 間	C Dブックを収集し、貸 し出しする。（音楽C Dは 寄贈のみ収集）
	障がい者及 び高齢者用 資料の収集 と整理	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やD A I S Yを 収集・整理し、貸し出し を行う。また、据置型・ 携帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機、プレク ストークを設置している。
	対 面 朗 読	目の不自由な方に、資料を 朗読する。	目 の 不 自 由 な 方 等	年 間	来館のうえ、対面朗読協 力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障がいのため、来館が困難 な利用者に、郵送による貸 し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、インターネット等で 申し込みを受け付け、図 書館資料を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない 利用者に対して督促通知を 行い、資料の効率的運用を 図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知 を行う。
	ベストセラ ー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館 内にリストを掲示し、寄 贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者の登録を行う。	一 般 児 童	年 間	貸し出しは、県内在住者、 在勤者、在学者に対して 10冊22日間。（貸出日を含 む）

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(資料)	図書の展示	テーマに沿った一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
資料・児童担当(児童)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを収集整理する。	0 歳 ～ 高校生、一般	年 間	新刊情報により選書し、発注、受け入れ、貸し出しを行う。
	予約(リクエスト)制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0 歳 ～ 高校生、一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者(機関)、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0 歳 ～ 高校生、一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子育て支援	子育てに関する資料・情報を提供し、子育て世代をサポートする。	一 般	年 間	子育て支援図書コーナーの設置。「助産師さんと話そう！」(毎月1回)の開催。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。(月2回はボランティアによる)
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介するとともに、こどもの本コーナーの広報を行う。	0 歳 ～ 中学生、一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0 歳 ～ 中学生、一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
その他	とくしまネットワーク図書館システム等の管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。	一般図書館関係機関	年間	コンピュータシステム関連の維持・管理。 マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの管理運用などを行う。

令和５年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	令和５年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	48,235	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
県立図書館 「知の拠点」事業	43,500	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 電子書籍コンテンツ購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	400	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,113	コンピュータ関係経費 (第７期図書館システム運用保守経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	807	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	3,909	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	100,964	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

＜郷土資料の収集＞

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に係っているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、閲覧用、貸出用を収集する。

＜参考資料の収集＞

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧（ハンドブック） | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

＜児童資料の収集＞

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

＜視聴覚資料の収集＞

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

＜新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集＞

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

＜電子書籍の収集＞

辞典・図鑑など調査研究に役立つ資料や郷土資料、図書館の設定したテーマに沿った資料を収集する。

＜マイクロフィルムの収集＞

徳島県に関連するものを収集する。

＜特別集書の収集＞

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、「徳島県立図書館資料収集方針」に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。
4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。著名な文学作品やその関係書については、精選する。

3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改訂される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。
 - (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
 - (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
 - (3) 個人著者等が徳島出身の資料
 - (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
 - (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
 - (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌
広報、リーフレット
 - (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
 - (8) 徳島で発行される同人雑誌
 - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
 - (10) タウン誌、ミニコミ紙

- (11) 観光パンフレット、イベントちらし
 - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
 - (13) 徳島の地図類
 - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
 - 2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
 - 3. 一般雑誌、多巻ものの一部（１巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
 - 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。
- 6 児童資料
- 1. 乳児から中高生など１０代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (１) 児童図書
 - (２) 紙芝居
 - (３) ヤングアダルト向けの図書
 - (４) 児童対象の録音図書など（ＣＤ）
 - (５) 児童向きの逐次刊行物
 - 2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (１) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (２) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (３) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
 - 3. 収集の制限
原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。
 - (１) 形態
 - ・ 散逸しやすいもの
 - ・ 組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・ 著しく耐久性に欠けるもの
 - (２) 内容
 - ・ 受験用参考書、問題集
 - ・ 商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・ 戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・ 童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（ＣＤ、カセット）

附則

この基準は、平成２５年４月１日から施行する

Ⅲ 令和4年度事業報告

1 企画振興担当 関係

文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を1月31日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸出を行った。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 206日 延べ配送日数 106日
(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19市町村

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 19,963冊

- (イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5町

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 5,014冊

- ② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 28館、図書館未設置町 5町、県立高等学校 1校

- ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 27校 協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 1,744冊

- ④ 団体貸出の実施（職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。）

利用団体数 6団体 貸出冊数 601冊

- ⑤ 読書会文庫の貸出（1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。）

利用団体数 6団体 貸出冊数 684冊

- ⑥ 「まなびの森」講演会（生涯学習支援事業）を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 11講演 参加人数 170名

- ⑦ 令和3年度より、総合学術調査を小松島市において実施し、小松島市サウンドハウスホールで令和4年4月29日に「令和3・4年度阿波学会小松島市総合学術調査中間報告会」を、令和5年3月11日に「令和3・4年度阿波学会小松島市総合学術調査最終報告会」を開催した。

- ⑧ 協力業務実務担当者会を開催し、協力通信 No. 276～282を発行した。

■ 協力車等の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に配送開始)



◎：協力車等巡回配送対象市町村立図書館（19館…各自治体に巡回）

□：協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査・郷土担当 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、約360,000冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナーには、雑誌 469タイトル（購入 277：うち 31は雑誌スポンサー制度、寄贈 192）、新聞 47種（購入 31、寄贈 15）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

① 資料購入費（備品費）2,397,205円で、年鑑、白書等 225点を購入した。

② 資料購入費（需用費）5,093,454円で、雑誌 3,196冊、新聞 32種、官報を購入した。

③ 寄贈資料は 年鑑・年報・統計書類 251冊、雑誌 2,002冊、を受け入れた。寄贈新聞は15種であった。

④ 製本費 170,500円で、官報等 62冊の製本を行った。

- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、「徳島県内公共図書館購入雑誌・目録・所蔵新聞目録 2022年版」を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として平成21年度から雑誌スポンサー事業を実施し、令和4年度は、12団体より31誌の提供があった。
- ⑦ 「5月は図書館振興月間」展などの雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示を一般資料コーナーにおいて計8回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、33,001枚（白黒 31,693枚、カラー 1,308枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 2,815,552円で 参考図書 251冊、101,969円で 特別集書（橋と川に関する資料）を 27冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 94冊、特別集書 1冊であった。
- ② 電子書籍 569冊、3,993,305円を購入し、電子書籍閲覧サービスを行った。
- ③ 参考資料コーナーには約 25,000冊、特別集書コーナーには約 5,000冊を開架し、閲覧に供した。
- ④ 参考質問件数は8,508件で、内訳は、レファレンス記録記載分 676件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 51件、県議会・行政機関からの参考質問は6件）、所蔵検索等の資料案内件数が7,832件であった。
- ⑤ 県外との相互貸借は、他館からの借り受けが 145件 181冊、他館への貸し出しが 510件 797冊で、合計 655件 978冊であった。（協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末3台で、「聞蔵Ⅱ」等のオンライン・データベースを端末2台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 1,355枚（白黒 1,335枚、カラー 20枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末2台の利用は 135件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑨ 「新入社員・新社会人のための本」展などのビジネス支援や健康応援に関するミニ展示を〈しごと応援コーナー〉において計7回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑩ 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,918,360円で、図書 467冊、地図 5枚、CD 7枚、DVD 21枚を購入した。
- ② 165,000円で徳島新聞縮刷版PDF変換済データ一式を購入した。
- ③ 委託料 39,710円で貴重資料2点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費（需用費）81,989円で、逐次刊行物3タイトル 60冊と郷土新聞1タイトルを購入した。

入した。

- ⑤ 寄贈資料：図書 588冊、逐次刊行物 1,867冊、視聴覚資料等 16点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 221,540円で、新聞等 5タイトル 37冊の製本を行った。また、60,533円で 13点の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 363人、複写 2,557枚（白黒 2,539枚、カラー 18枚）であった。
- ⑧ 研究室 1：56件 81人、研究室 2：0件 0人、撮影室：4件 4人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版 PDF ファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ Web 上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ⑪ 「徳島ふるさとの味」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブース等において計 9 回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑫ 「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」で 8 点の資料を公開した。
- ⑬ デジタルアーカイブ構築事業として 583,470円で、和古書等 10点のデジタル化を行った。

3 資料・児童担当 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体へのサービス向上の更なる充実を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 17,758,671円で、一般資料コーナー用図書 8,137冊 17,378,641円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 82点 380,030円（一般用 CD 53タイトル、デジジー 11タイトル、マルチメディアデジジー 18タイトル）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 553冊と視聴覚資料 18点を受け入れ、整理した。
- ③ 令和 4 年度末の一般資料数は 786,198冊（視聴覚資料含む）である。一般資料コーナーに約 20万5千冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（26、27ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 24,085件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 322冊、一般用視聴覚資料 69点、デジジー 3 枚であった。閲覧室には、活字による読書が難しい人がデジジー図書を利用できる専用端末（ブレストーク）や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対話支援システム（コミュニケーション）をカウンターへ配置し、聞き取りやすさを補助して、利用者との円滑なコミュニケーションが図れるようにしている。
- ⑦ AV コーナーでは、CD デッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できる CD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 「しごと応援コーナー」において、就職・起業、会社実務、経営・雇用、職場環境などに関する資料を紹介、貸し出した。

- ⑨ 「セカンドライフ応援コーナー」において、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑩ 平成21年度から開始した県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、12冊の寄贈を受けた。
- ⑪ 「川端康成 没後50年」などのミニ展示を一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計 13回実施し、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

- ① 資料購入費 6,347,964円（うち〈こどもの本充実枠〉1,999,809円）で、児童関係図書 3,385冊、洋書 89冊、紙芝居 51巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は 288,182円で、新聞 5紙、雑誌を 36タイトル 337冊を購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書 639冊、洋書 19冊、雑誌 117冊、視聴覚資料 16点を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約48,000冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約4,000冊を開架図書として配置した。
コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。
また、子育てに関する図書約1,000冊と雑誌14誌、赤ちゃん絵本約800冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた「子育て支援図書コーナー」の充実を図った。
- ④ 貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、8,180件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を特別支援学校 7校に行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等のべ 88団体に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品 116点を貸し出した。
- ⑧ 「としょかん・本」などの月ごとにテーマを決めたミニ展示等をこどもの本コーナーの各所において計 22回実施し、資料の利用促進を図った。

⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事

○初めての方のための読み聞かせ講座 6月5日 参加者：8名

講師 渡邊美恵（絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ）

絵本専門士の講師から、読み聞かせの初歩として、絵本の種類や構造の説明、技術として発声や絵本の選び方の講義の後、参加者による短い実技が行われた。

○令和4年度徳島県立図書館おはなし会ボランティア研修会・子どもの読書研修会

2月19日 参加者：12名

「絵本で学ぶSDGs」

講師：菅弥和乃（絵本専門士、絵本でSDGs協会サポーター）

SDGsとは何か、なぜ必要か、どのように構成されているのかを説明し、絵本を使用したワークショップを行った。また、自身が制作に関わった別冊太陽『絵本で学ぶSDGs』に掲載された絵本等についての内容紹介や解説等を行った。

○行事

・赤ちゃんとおはなし会（毎月第2木曜日）

月 日	4/14	5/12	6/9	7/14	8/10	9/8	10/13	11/10
参加人数	7	6	8	13	0	10	11	8

月 日	12/8	1/26	2/9	3/9	計
参加人数	8	4	4	8	87

赤ちゃんとおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス

・相談の会「助産師さんとはなそう！」を9月まで隔月（奇数月）に開催していたが、10月以降は毎月開催することとした。

・おはなし会（毎月第2・4日曜日および「きせつのおはなし会」年4回）

月 日	4/10	4/24	5/5	5/22	6/12	6/26	7/10	7/24
参加人数	17	15	43	4	8	15	10	15

月 日	8/7	8/21	9/11	9/25	10/9	10/23	11/3	11/13
参加人数	13	14	17	10	10	8	54	18

月 日	12/11	12/25	1/8	1/29	2/11	2/26	3/12	3/26	合計
参加人数	21	21	20	18	49	12	8	27	447

・えいごのおはなし会 11/23 参加者：19名 2/11 参加者：52名

・クリスマスおはなし会 12/4 参加者：19名

夏休みには、徳島県防災人材育成センターから講師を招き、小学生対象に出前講座「まなぼうさい教室」を行った（7/30 9名）。また、文化の森サマーフェスティバル関連行事として、小学生対象に「図書館探検隊」を行った（8/21 6名）。

⑩ 広報

『こどもの本コーナーようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 「とくしまネットワーク図書館」システムの更改

令和5年1月24日より「とくしまネットワーク図書館」システムを新システムに切り替えた。

更改により、インターネット上で利用者登録が完了するシステムや、スマートフォンやマイナンバーカードを貸出カードの代わりに利用出来る仕組み等を導入した。

(2) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(3) コンピュータ委員会

各担当より選出された11名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの更改作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び県内相互貸借システムの更新・運用作業を行った。

(4) システム担当者会（随時）

文化の森6館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システム運用のための各種作業を行った。また、更新及びデジタルアーカイブシステムについての検討や各館の情報交換などを行った。

5 他機関との連携事業ほか

(1) 課題解決サービス

① 健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回実施し、令和4年度は215件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

令和4年11月29日から12月25日には県保健福祉部医療政策課の臓器移植啓発の一環として関係資料の展示、令和5年1月31日から2月26日には県保健福祉部健康づくり課の徳島県アレルギー疾患県民講座に関連した資料の展示、令和5年2月7日から26日には県保健福祉部長寿いきがい課のフレイル予防に関する資料・パネルの展示、令和5年2月28日から3月26日には県保健福祉部保健福祉政策課の自殺対策啓発活動事業（パネル展）を行った。また、徳島大学附属図書館蔵本分館が開催した医療関係の展示ポスターを掲示した。

② しごと応援コーナーの充実

平成23年9月に設置した「しごと応援コーナー」には、仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、令和4年度においても就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報誌などを置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

令和4年10月21日から11月13日には県労働委員会が職場のトラブル解決に関する資料・パネルの展示を行い、11月13日には図書館の集会室で「労働相談会 in 県立図書館」が開かれた。

③ 行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。令和4年度は、

24件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する 65件のチラシを配布した。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(P23別表)

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で、5月5日に「文化の森 こどもの日フェスティバル」、8月21日に「文化の森 サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 秋祭り」、2月11日に「文化の森 ウィンターフェスティバル」を開催し、図書館では季節に合った「おはなし会」を実施した。また、12月7日から12月13日まで、近代美術館ギャラリーにて「文化の森 人権啓発展」を開催し、図書館は当館所蔵の人権関係資料と識字関係資料を展示した。

(5) 大学図書館との連携

平成29年3月28日に締結した「国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

① 交換展示ほか

- 令和3年度に県立図書館で実施した「じ・て・ん〜字典・辞典・事典〜」の巡回展示が、令和4年10月24日から11月30日まで徳島大学附属図書館で、令和5年1月4日から2月3日まで鳴門教育大学附属図書館で実施された。
- 県立図書館「電子図書館」プラットフォームからの徳島大学附属図書館及び鳴門教育大学附属図書館がデジタル化した画像データベースへのリンクアクセスを継続した。

② 図書館職員の交流研修

- 徳島県図書館職員第1回研修会に、徳島大学附属図書館から職員1名、鳴門教育大学附属図書館から職員1名の参加、第2回研修会に、鳴門教育大学附属図書館から職員2名の参加、第3回研修会に、徳島大学附属図書館から職員5名、鳴門教育大学附属図書館から職員1名の参加があった。
- 図書館職員の相互訪問研修の実施
9月22日に、鳴門教育大学附属図書館の主催で、オンライン会議による「後藤家文書について」の研修があり、6名の職員が参加した。

③ 徳島大学附属図書館の、学術講演会の実施への協力

- 令和5年2月21日に徳島大学附属図書館がオンラインで開催した学術講演会「リアルとデジタルの掛け合わせの可能性」を徳島市立図書館と共に共催した。
- 共催展示として、県立図書館2階ブラウジングコーナーで、令和5年2月16日から2月

26日まで「第31回徳島大学附属図書館学術講演会 リアルとデジタルの掛け合わせの可能性」共催展示を開催した。

④ 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施しており、令和4年度は、貸出 234冊、借り受け 9冊だった。

⑤ その他

県立図書館で、各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示を行い、また、学術講演会の案内や大学の月刊誌を県下の市町村立図書館へ送付した。

◆ 令和4年度刊行物

- | | | |
|-----------------|----------|------------------|
| ① 令和4年度 年報 | 350 冊 | (R4.6.1 発行) |
| ② 令和5年度図書館カレンダー | 30,000 枚 | (R5.2.1 発行) |
| ③ 阿波学会紀要 第64号 | 300 冊 | (R5.3.1 発行：阿波学会) |

講師の派遣

月 日	会 場	講座内容等	派遣職員	参加者数
7月6日	21世紀館 情報文化実習室	シルバー大学院歴史文化講座 県立図書館調べもの講座	水上英俊	24
10月4日	徳島県立障がい者 交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	松下聖子・山本翔太	4
11月29日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	立石忠徳・赤嶺章太郎	10

実習・研修

	実習・研修名	参加者	月 日	内 容
1	1Day 徳島県職員 チャレンジ	四国大学、徳島大学 3名	9月8日	・図書館の役割・業務の学習 ・資料の受入、整理 ・レファレンス体験
2	フレッシュ研修 企業等研修	新任教員（吉野川高校、 名西高校） 3名	10月19日～20日	
3	インターンシップ	阿南光高校 4名	11月17日～18日	
4	インターンシップ	徳島市立高校 1名	12月15日～16日	

視察・見学

	組織名	月 日	参加者数	内 容
1	四国大学	8月9日	3	・県立図書館の歴史について ・県立図書館のサービスについて
2	広島県教育委員会生涯学習課	10月10日	2	・サービス向上目標について ・県民等へのニーズ把握について ・学校図書館との連携・支援について
3	佐賀県立図書館	2月17日	2	・バリアフリーサービスについて ・実施している研修について ・県内の資料配送について
4	高知市潮江市民図書館	3月9日	8	・アウトリーチサービスについて（特に高齢者対象・児童対象）

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学校名	月 日	内 容	参加人数
1	大松小学校 3年	5月13日	自由閲覧	71
2	明神小学校 1年	5月18日	自由閲覧・おはなし会	31
3	上八万小学校 2年	5月24日	自由閲覧	57
4	渋野小学校 2年	5月31日	自由閲覧・見学・おはなし会・質問コーナー	46
5	板野支援中等部	7月8日	おはなし会	21
6	ナチュラルキッズサード（放課後デイサービス）	7月26日	自由閲覧・おはなし会	11
7	城ノ内中学校	7月28日	見学	29
8	キッズサポートエブリーS	8月31日	自由閲覧	6
9	長生小学校 1・2年	9月16日	自由閲覧・おはなし会	35
10	北島南小学校 3年	10月13日	自由閲覧	80
11	応神小学校 3年	10月14日	自由閲覧	29
12	北井上小学校 2年	10月21日	自由閲覧・見学	22
13	高川原小学校 3年	10月21日	自由閲覧・見学	55
14	千松小学校 2年	10月27日	見学	152
15	撫養小学校 1・2年	11月1日	自由閲覧	93
16	御所小学校 1・2年	11月2日	自由閲覧・見学・おはなし会・質問コーナー	69
17	助任小学校 2年	11月2日	自由閲覧	146
18	上勝小学校 1・2年	11月2日	自由閲覧・見学	21
19	長原小学校 3年	11月4日	自由閲覧	4
20	津田小学校 2年	11月8日	自由閲覧・見学・質問コーナー	90
21	林崎小学校 1・2年	11月9日	自由閲覧・見学	96
22	江原南小学校 2年	11月11日	自由閲覧・見学	46
23	櫛生小学校 1～6年	11月18日	自由閲覧・見学・おはなし会	16
24	堀江北小学校 2・3年	11月22日	自由閲覧・見学・おはなし会	62
25	川内北小学校 2年	11月24日	自由閲覧・見学	109
26	生比奈小学校 2年	11月25日	自由閲覧・見学・おはなし会	21
27	国府幼稚園 4・5歳児	11月29日	自由閲覧	75
28	八万南小学校 2年	12月1日	見学・質問コーナー	110
29	神領小学校 2年	2月21日	自由閲覧・見学	25
30	みなと高等学園	2月22日	自由閲覧・見学	6
31	入田小学校 2年	3月1日	自由閲覧・見学・おはなし会・質問コーナー	8
32	八万南小学校 6年	3月14日	自由閲覧・見学	111

計 1,753 名

参考：図書館資料充実費内訳（製本費等を除く）

網掛部分 単位：(円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
○ 調査・郷土担当					
(1)	逐次刊行物	7,424,879	6,994,444	7,310,625	7,490,659
	資料購入(備品費)費用	2,133,897	1,867,608	2,400,067	2,397,205
	点数	253	196	287	225
	資料購入(需用費)費用	5,290,982	5,126,836	4,910,558	5,093,454
	雑誌種数	282	282	277	277
	新聞紙数	32	32	32	31
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料 (備品費)	4,442,675	3,031,601	3,520,429	2,917,521
	参考図書費用	4,393,751	2,985,566	3,450,405	2,815,552
	冊数	349	208	322	251
	特別集書費用	48,924	46,035	70,024	101,969
	冊数	17	14	22	27
(3)	郷土資料	877,712	1,200,491	1,392,171	2,000,349
	資料購入(備品費)費用	788,530	1,120,486	1,310,361	1,918,360
	図書冊数	401	414	451	472
	CD等点数	2	6	10	28
	資料購入(需用費)費用	89,182	80,005	81,810	81,989
	雑誌種数	4	3	3	3
	新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料・児童担当					
(1)	貸出用図書(備品費)	17,719,741	18,257,135	17,582,815	17,758,671
	一般資料図書購入費	17,251,459	17,787,513	17,101,133	17,378,641
	冊数	8,498	8,488	8,131	8,137
	視聴覚資料購入費	468,282	469,622	481,682	380,030
	点数	77	70	82	82
(2)	児童関係資料	6,460,793	7,069,224	6,765,136	6,636,146
	資料購入(備品費)費用	6,182,742	6,801,376	6,471,942	6,347,964
	児童図書冊数	3,932	3,648	3,530	3,474
	紙芝居巻数	58	60	66	51
	CD等点数	0	0	0	0
	資料購入(需用費)費用	278,051	267,848	293,194	288,182
	雑誌種数	37	36	36	36
	新聞紙数	4	4	5	5
(3)	団体貸出用購入費	1,826,710	1,958,195	1,842,851	1,848,033
	点数	202	249	159	146
	図書資料購入費合計	38,752,510	38,511,090	38,414,027	38,651,379
	図書購入費(備品費)	33,094,295	33,036,401	33,128,465	33,187,754

6 諸 統 計

○現有図書資料（令和5年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こども	計	前年度末現在
0：総 記	129,366	896	8,246	138,508	136,620
1：哲 学	62,569	1,430	2,331	66,330	66,068
2：歴 史	123,128	2,180	8,208	133,516	132,919
3：社会科学	329,565	2,996	12,407	344,968	342,717
4：自然科学	109,306	1,966	15,864	127,136	126,563
5：技 術	143,711	1,355	6,736	151,802	150,420
6：産 業	88,758	814	3,119	92,691	91,622
7：芸 術	141,046	2,103	18,447	161,596	161,267
8：言 語	24,833	472	2,963	28,268	28,200
9：文 学	241,512	15,956	52,150	309,618	313,490
童 話	9	1,490	14,390	15,889	16,903
絵 本	105	1,742	74,812	76,659	75,993
そ の 他	59,136	1,609	4,523	65,268	65,109
計（冊）	1,453,044	35,009	224,196	1,712,249	1,707,891

○電子書籍受入タイトル数と閲覧数（令和5年3月31日現在）

	H29・30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	累計
タイトル数	492	466	1,001	559	569	3,087
閲覧数	1,344	2,918	9,358	10,232	14,184	38,036

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	2,476人
昨年度末有効登録者数	*162,994人
団 体 貸 出（団体）	6 団体
読 書 会 文 庫（団体）	6 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○県外相互貸借(令和4年度)

		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	305	202		3	510
	冊数	534	260		3	797
借受	件数	67	71	1	6	145
	冊数	84	90	1	6	181

○図書貸出冊数（令和4年度）〈単位：冊〉

区 分		冊 数
個人貸出	図 書	468, 649
	洋 書	2, 024
	視聴覚資料	9, 909
	逐次刊行物	31, 304
	その他	3, 104
	小 計	514, 990
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	24, 977
	県立学校	1, 744
	小 計	26, 721
団体貸出	団体貸出	601
	読書会文庫	684
	小 計	1, 285
貸 出 総 数		542, 996

○月別利用状況 (令和4年度)

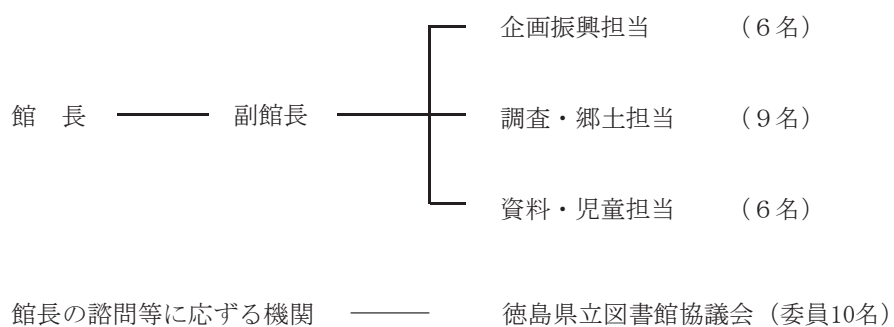
〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予約・リクエスト		参 考 質 問							
		(日)	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案 内	月計	日平均
4 月	25	197	8	13,787	551	45,027	1,801	3,291	132	24	14	1	10	733	782	31	
5 月	25	199	8	14,188	568	45,207	1,808	3,065	123	24	16	4	10	751	805	32	
6 月	25	196	8	13,531	541	42,733	1,709	2,999	120	34	28	4	11	711	788	32	
7 月	26	344	13	15,736	605	52,671	2,026	3,137	121	27	16	5	6	809	863	33	
8 月	26	336	13	15,708	604	50,472	1,941	3,111	120	30	18	2	11	713	774	30	
9 月	24	212	9	13,297	554	42,922	1,788	2,956	123	26	16	4	19	613	678	28	
10月	25	194	8	14,210	568	45,269	1,811	3,045	122	16	21	2	14	639	692	28	
11月	25	167	7	13,108	524	42,146	1,686	2,861	114	22	18	3	17	721	781	31	
12月	23	128	6	12,349	537	39,352	1,711	2,857	124	22	10	1	15	530	578	25	
1 月	12	121	10	7,447	621	25,273	2,106	1,902	159	6	10	2	11	380	409	34	
2 月	24	199	8	13,382	558	41,731	1,739	2,961	123	17	19	3	21	632	692	29	
3 月	26	183	7	13,222	509	42,187	1,623	2,932	113	19	17	6	24	600	666	26	
合計	286	2,476		159,965		514,990		35,117		267	203	37	169	7,832	8,508		
平均	24	206	9	13,330	559	42,916	1,801	2,926	123	22	17	3	14	653	709	30	

IV 管 理

1. 組織（令和5年6月現在）

（1）組織図



（2）職員構成

職名 所属	館長	副館長	課長 補佐	主査兼 係長	係長	主席	主任	主任 司書	司書	計
館長	1									1
副館長		1								1
企画振興担当			1 (1)		2 (2)	1	1 (1)	1 (1)		6 (5)
調査・郷土 担当			2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)		1 (1)	9 (9)
資料・児童 担当			1 (1)	1 (1)	1 (1)		2 (2)	1 (1)		6 (6)
計	1	1	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (2)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	23 (20)

※（ ）は、司書資格者数（内数）

2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (㎡)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室（整理作業室）	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフルーング	60
カウンター	55	集会室（大）	122
こどもの本コーナー	566	集会室（小）	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース>	[693]
ロッカーコーナー	69	機械室(5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース>	[1,843]	ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434	<その他>	[975]
館外書庫	349	1階エントランス	225
貴重書庫	60	その他	750
* 書庫は積層式になっているため、実質3,626㎡ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー 15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。
平成 27 年 9 月 18 日	文化の森開園 25 周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を 6 館共通テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが想い描いたヒト」、「アニメその歴史と未来」展を開催する。
平成 29 年 11 月 5 日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙げる。
平成 30 年 4 月 23 日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞する。
令和 2 年 4 月 1 日	教育委員会より知事部局(未来創生文化部)に移管。
11 月 3 日	文化の森開園 30 周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える とくしまデジタルアーカイブ」を各館共同で開催、旧館時代のレコード等を展示。
令和 3 年 7 月 10 日	文化の森に移転後、来館者 1500 万人を達成する。

4 歴代館長

就任年月日						館長				館長事務取扱			
大正	5	年	7	月	26	日				県内務部長	広瀬直幹		
大正	5	年	11	月	6	日				県内務部長	亀井光政		
大正	6	年	3	月	31	日				県学務課長	林恒四郎		
大正	6	年	10	月	10	日				県学務課長	野瀬千太郎		
大正	10	年	3	月	17	日				司書	岩瀬		
大正	10	年	3	月	31	日	岩	瀬	亀之進				
大正	13	年	12	月	6	日				県学務課長	鈴木省吾		
大正	13	年	12	月	20	日				県内務課長	木島庄三		
大正	14	年	1	月	9	日				県学務課長	小松栖		
大正	15	年	8	月	26	日				県社会教育主事	本崎善一		
昭和	2	年	2	月	14	日	坂	本	章好				
昭和	13	年	9	月	22	日	今	田	三太				
昭和	19	年	3	月	22	日				県青少年教育課長	三好菊夫		
昭和	19	年	4	月	25	日				県青年教育課長	沖田武雄		
昭和	19	年	6	月	6	日	大岡	谷	幹				
昭和	20	年	4	月	26	日	原	島	幹				
昭和	22	年	8	月	31	日	蒲	田	武				
昭和	24	年	5	月	3	日	藤	池	正				
昭和	37	年	4	月	1	日	上	居	信				
昭和	38	年	4	月	1	日	竹	原	浩				
昭和	44	年	4	月	1	日	喜	田	俊				
昭和	50	年	4	月	1	日	高	井	泰				
昭和	52	年	4	月	1	日	石	堂	静				
昭和	54	年	4	月	1	日	近	藤	廣				
昭和	56	年	4	月	1	日	岩	佐	俊				
昭和	58	年	4	月	1	日	岸		健				
昭和	61	年	4	月	1	日	芝						
昭和	63	年	4	月	1	日	山		正				
平成	2	年	4	月	1	日	日	下	博				
平成	5	年	4	月	1	日		野	精				
平成	7	年	4	月	1	日		川					
平成	8	年	4	月	1	日		市					
平成	10	年	4	月	1	日	武	澤					
平成	11	年	4	月	1	日	米	平					
平成	13	年	4	月	1	日	大	田	靖				
平成	14	年	4	月	1	日	小	島	明				
平成	15	年	4	月	1	日	福	平	隆				
平成	16	年	4	月	1	日	松	崎	啓				
平成	17	年	4	月	1	日	今	本					
平成	18	年	4	月	1	日	桐	見	義				
平成	19	年	4	月	1	日	早		憲				
平成	19	年	5	月	1	日	桑	村					
平成	20	年	4	月	1	日	上	野	秀				
平成	21	年	4	月	1	日	中	井	忠				
平成	22	年	4	月	1	日	林		善				
平成	24	年	4	月	1	日	青	木	志				
平成	25	年	4	月	1	日	吉	成					
平成	27	年	4	月	1	日							
平成	27	年	5	月	1	日	榎	納	正				
平成	28	年	4	月	1	日	松	浦	豊				
平成	29	年	4	月	1	日	町	田	由				
令和	元	年	5	月	1	日	野	瀬					
令和	3	年	4	月	1	日	藤	川	敬				
令和	4	年	4	月	1	日	小	林	悦				
令和	5	年	6	月	1	日	露	口					

V 令和4年度行事記録

1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
4月29日	令和3・4年度阿波学会小松島市総合学術調査中間報告会 (小松島市サウンドハウスホール)	小松島市関係者 各班代表者 一般参加者	総合学術調査の中間発表 (考古班、民家班、方言班、地理班、民俗班)	48
4月29日 ～5月29日	令和4年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	38
5月25日	阿波学会理事会・評議員会 (ハイブリッド)	阿波学会役員 事務局員	令和3年度決算、令和4年度計画について	19
5月31日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和3年度読書振興大会、理事会・総会について	8
6月2日	第1回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド) (二十一世紀館イベントホール)	講師： 杉岡 和弘 氏 加納 尚樹 氏	講義：「子どもの本を選ぶ」 講義：「気づきを上げる実践型接遇研修（入門編）」（リモート）	64
6月5日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	8
6月24日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」について	11
7月15日	第2回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド) (二十一世紀館イベントホール)	講師： 青柳 英治 氏 藤田 順 氏	講義：「市民参加と協働による図書館づくり」（リモート） 講義：「レファレンス協同データベースの利活用」	46
7月23日	レコード鑑賞会：ハワイアン	イベント広報委員会	「ハワイアン・オールスターズ」「ハワイアン・セレナーデ」	8
7月30日	夏休み出前講座「まなぼうさい教室」	徳島県防災人材育成センター職員	地震や津波の特徴を学び、家庭や地域でできる日頃の備えについての講座を開催	9
8月1日 ～31日	令和4年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	5
8月21日	図書館探検隊	児童担当	小学生対象。図書館の書庫・事務室など普段は入れない場所を案内	6
8月27日	レコード鑑賞会：サンタナ	イベント広報委員会	「SANTANA'S GREATEST HITS」	4
9月13日 月15日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体を選考	10

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
9月15日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和4年度図書館大会及び研究テーマについて	9
9月22日	図書館職員相互訪問研修 (オンライン) (二十一世紀館イベントホール)	徳島大学附属図書館・鳴門教育 大学附属図書館 ・県立図書館職員	事例発表： 「後藤家文書」について	22
9月24日	レコード鑑賞会：行進曲	イベント広報委員会	「世界マーチ名曲集」	4
9月30日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」について	12
10月6日	第3回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド) (二十一世紀館イベントホール)	講師： 打浪 文子 氏 田辺 智子 氏	講義：「わかりやすい表現でサービスを届けよう」(リモート) 講義：「図書館評価の有効性—公共図書館を事例として—」(リモート)	51
10月15日	レコード鑑賞会：ボブ・ディラン	イベント広報委員会	「BOB DYLAN'S GREATEST HITS」	5
10月22日	徳島県読書振興大会 (那賀町大会)(ハイブリッド) (那賀町地域交流センター)	講師： 大澤 善和 氏 (阿波太布製造技法保存 伝承会)	大会テーマ 「那賀の源流、読書の原点」	35
10月23日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和4年度おはなし会実施状況について ほか	13
11月2日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」について	8
11月23日	えいごのおはなし会	鈴江 晶子 氏	大型絵本・絵本の読み聞かせ、手遊び(うた)	19
12月4日	クリスマスおはなし会	四国大学幼児教育 研究室	うた、絵本の読み聞かせ、 工作、手遊びなど	19
12月6日 ～9日	令和4年度 中国・四国地区図書館地区別研修(ハイブリッド) (二十一世紀館イベントホール)	講師： 近藤 たみ 氏 糸賀 雅児 氏 村井 麻衣子 氏 國松 完二 氏 野口 武悟 氏 磯本 宏紀 氏 中井 孝幸 氏	情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等についての研修を開催 対象：勤務経験が概ね3年以上の司書	211
12月7日 ～13日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場：近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関係資料・識字関係資料を展示	262

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
12月22日 ・23日	協力業務実務担当者会	講師： 富士通ジャパン	「とくしまネットワーク 図書館システム」の更新 について（操作説明）	46
1月28日	レコード鑑賞会：ジャニス・ジ ョプリン	イベント広報委員 会	「JANIS JOPLIN GREATEST HITS」	7
1月30日	図書館協議会	協議会委員	令和3年度事業実績・4 年度事業の実施状況につ いて、第4期サービス向 上目標について	20
2月9日	徳島県図書館大会 (ハイブリッド) (二十一世紀館イベントホール)	講師： 浅野 隆夫 氏 吉成 信夫 氏	講義：「常識のカバーを はずそう～人に寄り添う 図書館づくり」 講義：「図書館とつくる 地域の未来ー子どもの声 は未来の声ー」	51
2月11日	えいごのおはなし会	シドニー・バティ グ 氏	大型絵本を見開き毎に、 英語と日本語を交互に読 み聞かせ	49
2月18日	レコード鑑賞会：ワルツ	イベント広報委 員会	「ウィーン・ワルツ集」	5
2月19日	おはなし会ボランティア研修 会・子どもの読書研修会	講師： 菅 弥和乃 氏	講義：「絵本で学ぶSD Gs」	12
2月19日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会ボラン ティア	令和5年度おはなし会実 施予定について ほか	16
2月22日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	来年度の研修会について	10
3月11日	令和3・4年度阿波学会小松島 市総合学術調査最終報告会 (小松島市サウンドハウスホー ル)	小松島市関係者 各班代表者 一般参加者	総合学術調査の最終発表 (地質班、植物相班、鳥 類班、社寺建築班、地方 史班、災害・防災班)	79
3月18日	レコード鑑賞会：古き良き日本 の歌	イベント広報委員 会	「琴／日本の詩情」	5

2 共催集会行事

まなびの森講演会（年6回：放送大学徳島学習センターと共催）

平成21年3月に「まなびの森」事業(生涯学習支援事業)開設のための協定書を放送大学徳島学習センターと締結、平成30年2月に100回目を迎えた。

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 数
4月23日	歌舞伎の名作「勧進帳」を楽しみましょう	河野 稔治 氏	「勧進帳」について	15
5月21日	台湾の社会とそこに生きる人々	荒武 達郎 氏	台湾の歴史、そこに住む人々について	16
6月25日	南朝と共に散った阿波山岳武士	川人 清二 氏	細川氏と阿波山岳武士との戦いについて	19
7月23日	－ Film Cycle － 映像で徳島を見つめる場をデザインする	佐原 理 氏	地域の方々と協働で行うデザイン活動である「Film Cycle」について	13
8月27日	アミノ酸と酵素のちから－脳におけるアミノ酸代謝の疾患酵素学－	福井 清 氏	脳におけるアミノ酸のちからや酵素の働きについて	17
9月24日	避難所経営と感染症への対応を学ぼう－感染症への取り組みとは！－	武市 義雄 氏	感染症の防止を視野に入れた避難所経営について	11
10月15日	コオロギが地球を救う	野地 澄晴 氏	昆虫食について	19
12月17日	環境にやさしい有機合成－「ごみ」をださない有機化合物のつくりかた－	今田 泰嗣 氏	《環境にやさしい有機合成》を開発する取り組みについて	7
1月28日	「四国防災八十八話マップ」での災害伝承の取り組み	松重 摩耶 氏	「四国防災八十八話マップ」について	17
2月18日	人口の変化からみる徳島の未来	水ノ上智邦氏	経済学の視点からの少子高齢化にまつわる理論とデータについて	18
3月18日	戦国時代を駆けぬけた阿波の武将 下剋上の梟雄 松永久秀	亀山 隆雄 氏	松永久秀の生涯について	18

計 170

3 展示事業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
4月12日 ～ 5月15日	「どうも、県立図書館です！」	県立図書館のさまざまなサービスを紹介。
5月17日 ～ 7月18日	「首相100代」	評伝、自著、日記及びフィクションとして再構成した伝記小説など首相経験者64名に関する本を、1人につき1冊、展示・紹介。
7月20日 ～ 9月19日	「図書委員と本の旅－電子図書館に迷い込む－」	県内高等学校の図書委員が、県立図書館ホームページから読める、おすすめの電子書籍を紹介。

期 間	展 示 名	展 示 内 容
9月21日 ～ 11月20日	「瀬戸内寂聴－文学とその時代－」	瀬戸内寂聴氏の主要な作品を、執筆された時代に起きた日本・世界の出来事と共に展示。
11月22日 ～ 2月5日	「賞をとった絵本－日本絵本賞－」	日本絵本賞受賞作品のうち第1回から第15回までの受賞作を展示。
2月7日 ～ 4月9日	「日本の暴れ川」	暴れ川と呼ばれる19の河川について、その治水や歴史、川を取り巻く文化などについて書かれた本を展示。

交換展示 令和3年度企画展示 「じ・て・ん～字典・辞典・事典～」展
 令和4年10月24日(月)～11月30日(水) 徳島大学附属図書館
 令和5年1月4日(水)～2月3日(金) 鳴門教育大学附属図書館

4 他機関主催・連携展示

期 間	展 示 名 (主 催)	展 示 内 容	場 所
7月5日～ 8月7日	徳島県男女協調月間<ときわプラザ>紹介展 (ときわプラザ)	「徳島県男女協調月間」に合わせ、ときわプラザ(徳島県男女共同参画総合センター)で開催される講座等の紹介とともに、男女共同参画に関する資料を展示。	2階一般資料コーナー
9月19日～ 9月30日	図書委員と本の旅－電子図書館に迷い込む－ (県立図書館)	県立図書館と徳島県学校図書館協議会高校部会との協同企画展示の巡回展。	県庁ふれあいセンター
10月7日～ 11月4日	図書委員と本の旅－電子図書館に迷い込む－ (鳴門渦潮高校図書館・県立図書館)	県立図書館と徳島県学校図書館協議会高校部会との協同企画展示の巡回展。	鳴門渦潮高校図書館
10月21日～ 11月13日	労働問題関連資料展示 パネル展 相談会 (県労働委員会事務局調整課)	「個別労働紛争処理制度」周知月間に合わせ、職場環境や雇用条件、ハラスメントや働く人のメンタルヘルスなど、職場のトラブル解決に関する資料、パネルなどを展示。労働問題の相談会を開催。	2階一般資料コーナーなど 1階南側集会室1
11月14日～ 12月23日	図書委員と本の旅－電子図書館に迷い込む－ (池田高校図書館・県立図書館)	県立図書館と徳島県学校図書館協議会高校部会との協同企画展示の巡回展。	池田高校図書館
11月29日～ 12月25日	臓器移植啓発資料展 (県保健福祉部医療政策課)	臓器移植について、多くの方に知っていただくため、臓器移植に関する書籍や啓発資料、高校生のコメント等を展示。	2階一般資料コーナー
1月31日～ 2月26日	アレルギーを知る展示 (県保健福祉部健康づくり課)	徳島県アレルギー疾患県民講座に関連して、アレルギーに関する書籍や啓発資料を展示。	2階一般資料コーナー
2月7日～ 2月26日	「フレイル予防で健康長寿」展 パネル展 (県保健福祉部長寿いきがい課)	2月1日の「フレイルの日」に合わせ、フレイルの知識と予防に役立つ資料とパネルなどを展示。	2階一般資料コーナー 1階南側

期 間	展 示 名（主 催）	展 示 内 容	場 所
2月28日～ 3月26日	自殺予防啓発資料展 パネル展 （県保健福祉部保健福祉政策課）	3月の「自殺対策強化月間」に合わせ、自殺予防に関するパネル、広報ポスター等を展示。	2階一般資料コーナー 1階南側

令和4年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/23～4/17	新年度を「新書」で！
4/19～5/29	川端康成 没後50年
5/31～7/3	懐かしい！新しい！百貨店・デパートの世界
7/5～8/7	徳島県男女協調月間（ときわプラザ紹介）
8/9～8/28	松本清張 没後30年
8/30～9/25	自然災害に備えよう！
9/27～10/19	着て・見て・知って着物を楽しもう！
10/21～11/6	労働問題
11/8～11/27	ストップ！糖尿病
11/29～12/25	臓器移植普及啓
12/27～1/29	新年を「新書」で！
1/31～2/26	アレルギー
2/28～3/26	自殺対策強化月間

しごと応援コーナー

期間	テーマ
2/4～4/19	決算＆納税申告
4/21～6/16	新入社員・新社会人のための本
6/18～8/16	良い仕事は身だしなみから ビジネスファッション
8/19～11/6	働くために、生きるために、最も重要なことは・・・睡眠だ!!
11/8～11/13	労働問題
11/15～1/9	2022のキーワード 円高・ドル安
2/24～4/9	納税＆確定申告

郷土資料コーナー

期間	テーマ
3/18～5/15	活躍する徳島県人-2021年の出版物より-
5/17～7/10	徳島ふるさとのお味
7/12～9/19	調べよう！徳島県
9/21～11/30	瀬戸内寂聴ー文学とその時代
12/1～1/9	年末年始に徳島が舞台の小説を
12/6～1/9	「神代踊」ユネスコ無形文化遺産登録決定
1/24～3/15	徳島の文化財
2/14～3/15	〈森文庫〉ご紹介（3）

ブラウジングコーナー

期間	テーマ
5/13～5/29	追悼・早乙女勝元
6/17～7/3	とくしまの川
6/19～6/26	追悼・森崎和江
7/1～7/31	藍推進月間
7/22～8/28	マナーアップ
8/31～9/13	追悼・稲盛和夫
9/28～10/14	追悼・佐野真一
10/5～10/19	追悼・アントニオ猪木
11/2～11/16	紫綬褒章受章・大沢在昌
2/7～2/26	フレイル予防
2/7～2/26	高校生 図書館お仕事体験！
2/10～2/24	追悼・永井路子
2/25～3/5	追悼・松本零士
3/14～3/28	追悼・大江健三郎

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
2/4～4/26	春を待つ
4/27～5/30	4月30日は図書館記念日 5月は図書館振興月間
6/1～8/3	マスクの下でも 熱中症に気をつけて！
8/4～8/30	ネコ・猫・ねこ
8/31～10/16	ふくからに・・・台風（t y p h o o n）
10/18～12/4	お鍋の季節になりました
12/6～1/9	Merry Christmas!&Happy New Year!
1/24～4/9	春を待つ・・・

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
4月	としょかん・本
5月	おでかけ
6月	天気（雨・風・雷・太陽）
7月	スポーツ
8月	おばけえほん
9月	空（月・星・雲・虹）
10月	ごはんのえほん
11月	のりものえほん
12月	パーティー
1月	うさぎ
2月	冬のえほん
3月	いろいろな国の昔ばなし
○児童・ミニ展示	
期間	テーマ
3/8～4/17	春の本
4/10～5/10	追悼 デビッド・マッキー
4/19～5/15	子どもたちの読書のために
5/17～6/19	かぞく
6/7～7/3	ここ半年で出版された絵本
6/21～7/10	たなばた
7/12～8/28	恐竜
7/12～8/28	自由研究
7/16～7/30	追悼 あいはらひろゆき
7/30～8/17	地震・津波
8/2～8/28	戦争&平和
8/30～10/2	防災
10/1～10/30	食品ロス
10/4～10/30	ハロウィンの本
10/7～10/23	追悼 山脇百合子
11/1～11/27	日本の文化
11/22～2/5	日本絵本賞受賞作品 絵本
11/29～12/25	クリスマスの本
12/23～12/28	保険協会寄贈の本
12/27～1/9	お正月の本
1/24～3/5	節分・ひなまつりの本
3/7～4/16	春の本

VI 中国・四国地区図書館地区別研修

令和4年度中国・四国地区図書館地区別研修を、令和4年12月6日～9日まで二十一世紀館イベントホールにて開催した。

この研修会は、文部科学省の委託事業であり、中国・四国地区の県立図書館及び政令指定都市立図書館が持ち回りで開催しており、当館は前回、平成23年度に開催している。

勤務年数が概ね3年以上もしくは研修テーマに関連する業務に従事している司書等が対象となっている。情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等についての研修内容で実施し、中国・四国地区のさまざまな図書館から、会場・オンライン受講を合わせて211名の参加があった。受講者へのアンケートでは、「研修日程」「研修内容」「研修の運営」「研修科目の設定」「施設見学」「研修の成果が今後の図書館業務に役立つか」のいずれも、概ね高評価であり、有意義な研修を実施できたと考えている。

12月6日(火)	12月7日(水)	12月8日(木)	12月9日(金)
	【講義①】 「著作権法改正と図書館」(オンライン) 村井 麻衣子 氏	【講義③】 「図書館のアクセシビリティを高めるために」(オンライン) 野口 武悟 氏	【講義⑤】 「これからの場としての図書館利用と安心・安全な図書館施設を考える」 中井 孝幸 氏
開講式	【講義②】 「県立図書館とこれからの県域サービスのあり方」 國松 完二 氏	【講義④】 「誰もが楽しめる場所を目指してー徳島県立博物館常設展リニューアルにおける取り組み」 磯本 宏紀 氏	【演習】 講義⑤と同じ
文部科学省説明 文部科学省担当官			
【基調講演】 「新たな環境下の図書館サービス」 糸賀 雅児 氏	【事例発表】 「とくしま電子図書館の取り組み」 水上 英俊	施設見学	閉講式

〈データで見る徳島県立図書館の現状〉

年度	H30	R1	R2	R3	R4	
開館日数	288	287	287	280	286	
入館者数	440,303	432,071	370,268	349,486	327,621	※累計15,577,620人、H17から平日火～金は19:00まで開館
登録者数	3,326	3,089	2,790	2,777	2,476	
個人貸出冊数	588,386	583,867	547,149	546,190	514,990	
協力貸出冊数	24,424	20,100	22,075	25,181	24,977	※市町村立図書館等への貸出（図書館未設置は教育委員会へ）
高等学校・支援学校図書館協力貸出冊数	2,238	3,308	2,338	2,122	1,744	※県立学校図書館への貸出（利用校数）
	(24校)	(27校)	(27校)	(31校)	(27校)	
県外相互貸借冊数 （内、貸出冊数）	1,184	1,225	997	1,042	978	
	(1,015)	(1,059)	(783)	(840)	(797)	
リクエスト件数	24,594	26,868	38,836	35,562	35,117	
レファレンス件数	11,693	11,061	9,742	9,124	8,508	
蔵書冊数	1,184,121	1,186,303	1,200,260	1,203,465	1,200,060	※雑誌・視聴覚資料を除く
購入図書冊数	13,076	13,456	13,306	12,968	12,783	※雑誌・視聴覚資料を除く
雑誌購入種数	327	324	322	317	317	※官報1を含む
新聞購入種数	37	37	37	38	37	
資料充実費（千円） 内、図書購入費（千円）	39,155	39,500	39,500	39,500	39,500	※H29からは、「知の拠点」事業を含む
	32,850	33,136	33,136	33,136	33,136	
人口1人当たり図書購入費（円）	45	45	46	46	47	
人口1人当たり貸出冊数	1	1	1	1	1	
人口1人当たり蔵書冊数	2	2	2	2	2	
県人口	737,939	731,069	723,198	714,606	705,876	※県人口は、「徳島県推計人口」当該年度4月1日時点の推定人口

徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)



	図 書 館 名	住 所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島県立図書館	〒770-8070 徳島市八万町向寺山	088-668-3500 088-668-6904	9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00	月曜・祝日の翌火曜 第3木曜
2	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜(左が祝日の場合は第2火曜)
3	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～19:00	火曜・第1金曜
4	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	9:30～18:00	月曜 第3金曜
5	阿南市立 那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	図書館カウンター	〒774-8501 阿南市富岡町トノ町12番地 阿南市役所2階市民交流ロビー	0884-23-2020 —	9:00～18:00 土日 9:00～17:00	月曜・祝日
8	吉野川市立 鴨島図書館	〒776-0010 吉野川市鴨島町鴨島252番地1	0883-22-2004 0883-22-2014	9:00～19:00	火曜 館内整理日
9	山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
10	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日・月末
11	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
12	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
13	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220番地1	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
14	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
15	美馬市立図書館	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
16	三好市 中央図書館	〒778-0003 三好市池田町サラダ1836-1	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
17	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00～19:00	火曜
18	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30～18:00	月曜・月末
19	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	9:00～12:00 13:00～17:00	土曜・日曜・祝日
20	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30～18:00 土 9:30～17:00	第3月曜日
21	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日
22	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
23	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:30～18:00	月曜・祝日・月末
24	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:30～18:00	月曜・祝日・月末
25	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
26	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
27	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
28	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
29	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00(4-9月) 10:00～17:30(10-3月)	火曜・木曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分） バス利用（7 分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第 3 木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）
- ・ 特別整理期間（年間 10 日間以内、例年 1 月下旬から 2 月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標(第4期)

～新たな環境下の県立図書館サービス～

令和3年3月

徳島県立図書館では、サービス向上のための改善策や新たなサービスの展開を設定し、その実現に向けて努力していく指針として、平成18年度に「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」を策定し、以後5年ごとに改正を行い、サービス向上に取り組んできました。また、平成28年度からの第3期中には、開館百周年(平成29年)事業として「とくしま電子図書館」を構築するとともに、子どもの本の充実等を行いました。一方、令和2年に拡がった新型コロナウイルスは、感染防止のため人との接触を減らすことを余儀なくさせ、一時期図書館が全国的に休館または部分開館せざるを得なくなりました。こうして第4期目標策定では、改めて図書館の役割を再考することになりましたが、新たな環境下においても、引き続きしっかりと県民の様々な「知りたい」に応え続けていくことを目指し、電子書籍やリモートといった非来館型のサービスも駆使しながら、努力と工夫を重ねていくことといたします。

県立図書館の役割・運営方針

徳島県の図書館ネットワークの中核として、全ての地域の県民のニーズや課題に生涯を通して応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

目指す図書館の姿

人と資料とをつなぐ図書館

- すべての地域の県民への資料提供
- 「とくしまネットワーク図書館」の充実
- 県内市町村立図書館等への支援
- 他機関・団体との連携協力

探究する人をサポートする図書館

- レファレンス機能の強化
- 使いやすいレファレンス・ツールの提供
- 他機関と連携したレファレンス
- 仕事や暮らしの課題解決を支援

徳島を知って、未来を創る人の図書館

- 郷土資料の収集・保存・活用・発信
- 郷土関係レファレンス・ツールの強化
- 徳島に関する調査研究推進
- 地域の課題解決を支援

読書を愉しみ心を育む人の図書館

- 多様な資料収集と紹介
- 子どもの本を網羅的に収集
- 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力
- 読書バリアフリーへの取り組み

Ⅰ 人と資料とをつなぐ図書館

当館では昭和 63 年から市町村の図書館や教育委員会を巡回する協力車を運行し、県内公立図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借を行い、すべての県民が居住地にかかわらず同様な図書館サービスが利用できるよう図っています。さらに平成 30 年度から「電子書籍閲覧サービス」といった非来館型サービスを開始しており、今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

(1) すべての地域の県民への資料提供

すべての地域の県民への資料提供を行うため、昭和 25 年から移動図書館車「やまなみ号」を県下に巡回させ、市町村での図書館設置が進んできた昭和 63 年には、各図書館からの予約資料を運ぶ協力車に交代しました。これからも、全県民が利用できるサービスとして、市町村立図書館と図書館未設置の教育委員会への協力貸出を充実させるとともに、「電子書籍閲覧サービス」の普及と充実を図ります。

(2) 「とくしまネットワーク図書館」の充実

「とくしまネットワーク図書館」システムでは、利用者は県立図書館の本をインターネットで予約し、市町村立図書館を通して借りるとともに、各図書館は他館からの借り受けができます。今後も、「とくしまネットワーク図書館」システムを充実させることにより、すべての地域の県民が、より多くの図書館資料に出会い、利用できるよう図ります。

(3) 県内市町村立図書館等への支援

県内公共図書館の発展を図るため、市町村立図書館等との連携を深め、協力車等による図書館資料の搬送を維持します。また、図書館職員の資質・能力の向上を図るため、徳島県公共図書館協議会等において効果的な研修を実施します。さらに、非常時の図書館サービスの継続に向けた情報共有や検討を行います。

(4) 他機関・団体との連携協力

読書活動の振興を図るため、大学図書館および徳島県読書振興協議会等の読書ボランティア団体との連携・協力により、図書館の利用を促進します。

数値目標

5冊以上／人・年	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊出
2万冊以上／年	市町村立図書館・未設置教育委員会・県立学校図書館への協力貸出冊数
40 万人以上／年	入館者数

2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webでは「調べものナビ」を公開し、事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンスの技能とツールの充実に努め、サポートしていきます。

(1) レファレンス機能の強化

社会の複雑多様化に対応した的確なレファレンスサービスを行うため、各図書館職員の研修に努め、様々な分野で最新の動向を把握し、得た知識を共有して専門性やレファレンス技能を向上させるとともに、新しい分野も含め、多種多様な資料を充実させていきます。

(2) 使いやすいレファレンス・ツールの提供

調べたい事項の解決に、利用者自身で、より多くの参考になる本や文献に出会うことができるよう、当館での調査・相談事例のデータベース化とWeb公開を推進するとともに、関心の高いテーマのパスファインダー（調べ方案内）やテーマ一覧を充実させます。また、これらに当館「資料詳細」ページへのリンクといった機能を付加し、Webでできる調べものを拡充します。

(3) 他機関と連携したレファレンス

レファレンス・サービスの質を高めるため、国立国会図書館の協力レファレンスをはじめ、県内外の図書館や専門機関と一層連携して、各館が備える機能を相互に活用します。

また、他機関と協力展示を行うことで新たな利用につなげたり、とりわけ文化の森に集まる博物館等の各施設とは、調査研究やコレクション、レファレンス事例といった情報を共有しながら、より専門的な内容に対応できるよう努めます。

(4) 仕事や暮らしの課題解決を支援

ライフステージの各場面に対応して設定した「しごと」、「子育て」、「セカンドライフ」、「医療・健康」のコーナーで、暮らしに役立つ様々な資料や情報を時宜に応じて選択・提供することで、問題解決を支援します。起業や経営を対象としている「ビジネス分野」については、各種年鑑・統計書やオンラインデータベースの活用を促進していきます。

数値目標	
200人以上／年	主催講演・講座参加者数
6,000タイトル以上／年	電子書籍閲覧件数
50件以上／年	レファレンス事例インターネット公開件数

3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実し、効果的に紹介して支援していきます。

(1) 郷土資料の収集・保存・活用・発信

徳島県や県出身者に関する資料をはじめ、行政資料、広報誌、地域情報誌等を網羅的に収集・保存します。また、Webのみで公開された資料の紙媒体での収集や電磁的記録も推進します。さらに、歴史的に貴重な資料はデジタル化してアーカイブで広く発信するなど、郷土資料を適切に保存・活用することで徳島の姿を明らかにし、県民の郷土への理解を高めます。

(2) 郷土関係レファレンス・ツールの強化

郷土についての調査研究は利用者の関心が高く、問い合わせが多い分野であるため、豊富なレファレンス事例が蓄積されています。これらの成果は、各司書が共有して調査相談業務の向上を図り、また、郷土関係の事項・人物情報とともにデータベース化し、Web 公開を推進することにより、利用者自身で行う調査研究を容易にしています。

(3) 徳島に関する調査研究推進

地域に関する調査研究に対して、調査・相談や資料の提供を通じて活動を支援し、研究成果は当館で県民の利用に供するなど、学術文化の振興に努めます。

特に、60年以上の歴史がある「阿波学会」とは、2年ごとに1市町村ずつ実施する総合学術調査を共催し、その成果は地元市町村に還元するとともに、調査報告書を郷土資料として活用します。

(4) 地域の課題解決を支援

地域の課題解決に取り組む人や団体、行政機関に対して、積極的に資料の提供や調査・相談サービスを行い、その活動や業務を支援します。また、こうした活動等に協調して、資料展示や県政情報の提供を充実させるなど、より多くの県民が関心を高め、課題解決に関わっていきやすくなるよう啓発に努めます。

数値目標

3,000冊以上／年	郷土資料収集冊数
30件以上／年	行政支援サービス件数

4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、蔵書が常に幅広く新鮮な構成となるよう、また、子どものときから読書に親しめることなどに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場として環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

(1) 多様な資料収集と紹介

県民が読書そのものを愉しむとともに、それぞれが抱く興味関心に生涯を通じて応えていけるよう、豊富で多岐にわたる内容の資料を、図書・雑誌、視聴覚資料、電子書籍といった様々な形態で収集・提供します。

また、社会的なものや個人的なものを問わず、ありとあらゆる新たな読書テーマの発見につながる提案を行うために、多様なブックリストを作成してWebや資料展示で紹介したり、講演会といったイベントを行い、読書の喜びを高めます。

(2) 子どもの本を網羅的に収集

当館は、昭和 40 年代から子どもの読書推進のため、絵本・童話をはじめ事典やヤングアダルト向けの本、さらには児童書や児童文学者の研究書まで、すべての子どもの本を網羅的に収集した結果、子どもが楽しめるだけでなく、保護者や図書館・教育関係者等にも役立つ 20 万点に上る「子どもの本の資料センター」に成長しています。今後も引き続きこの役割を果たしていけるよう、年間児童書出版点数の 8 割以上の収集を目指していきます。

(3) 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力

子どもたちが読書に親しむ環境をつくるために、おはなし会などの活動を行います。

また、読みたい本との出会いを増やすパスファインダーやブックリストを作成して、Webや資料展示で紹介します。

さらに、電子書籍を含む調べ学習用図書の充実や協力貸出、協力レファレンスにより学校図書館との連携を深め、自主的な読書活動を支援します。

(4) 読書バリアフリーへの取り組み

障がいの有無にかかわらず県民が読書活動を行えるよう、当館は大活字本や録音図書といった多様な資料の収集や、来館が困難な障がい者への郵送貸出サービスなどを行っています。令和元年に「読書バリアフリー法」も施行され、視覚障がい者等が利用しやすい図書等の一層の充実に努めるとともに、こうした資料やサービス、読書支援機器が十分活用されるよう、誰もがわかりやすい館内表示や、市町村立図書館を通じた広報を行います。

また、日本語が母語でない人の読書活動を支援するため、様々な言語による資料の収集に努めます。

数値目標	
70回以上／年	資料紹介展示回数
3,200冊以上／年	児童書の年間購入冊数
350点以上／年	読書バリアフリー資料収集点数

サービス向上目標（第4期）数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		令和元年度実績	令和2年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	5	5	目標	5冊以上				
				実績	5	集計中			
	協力貸出冊数 (含・学校図書館)	23,408	24,413	目標	2万冊以上				
				実績	27,303	26,721			
	入館者数	432,017	370,268	目標	40万人以上				
				実績	349,486	327,621			
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	218	403	目標	200人以上				
				実績	252	456			
	電子書籍閲覧件数	2,918	9,200	目標	6,000件以上				
				実績	10,232	14,184			
	レファレンス事例インターネット公開件数	66	129	目標	50件以上				
				実績	67	67			
③ 地域を知る	郷土資料収集冊数	3,429	3,250	目標	3,000冊以上				
				実績	3,513	3,031			
	行政支援サービスの実績	33	48	目標	30件以上				
				実績	49	20			
④ 読書を愉しむ	資料紹介展示回数	79	74	目標	70回以上				
				実績	90	84			
	児童書の年間購入冊数	3,770	3,564	目標	3,200冊				
				実績	3,445	3,385			
	読書バリアフリー収集点数	465	409	目標	350点以上				
				実績	397	396			

＊図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年 報 令和5年度版

発行日 令和5年8月1日

発行人 〒770-8070
徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
徳島県立図書館
館長 露口 悦之
TEL (088)668-3500 (代)
FAX (088)668-6904
